

「魯山人写しの器」発売開始 …魯山人が好んだ器を現代に蘇らせました…

当社「株)ふた葉」は、このたび、没後50年を迎えて、(株)小倉陶器に委託し、美と食の極致を築き上げてみせた鬼才・北大路魯山人先生の作品をモチーフにした器を、ギフトパッケージにして発売することにいたしました。作品監修に「かたりべ魯文」さんを招き、品の良い、伝統的でありながら新鋭のある先生らしさあふれる商品になりましたので、お知らせ申し上げます。



北大路 魯山人: 1883–1959

1883年3月23日、京都上賀茂生まれ。幼い頃から書道、西洋看板に親しむ。東京に移り、日本美術展覧会に書を出品して一等賞を受賞。書道、篆刻、画家、陶芸、漆芸などで活躍。大正に入り、会員制「美食俱楽部」を発足、後に「星岡茶寮」を創業。「食器は料理の着物である」の信念で、自らの作品でもつながれた。篆刻家、画家、陶芸家、書道家、漆芸家、料理家、美食家など様々な顔を持っていた。76才没。

作品監修

■かたりべ魯文

野寺 文雄氏

昭和21年生まれ。食器、陶器メーカーの勤務を経て、魯山人に関する著書の制作および魯山人に関するイベントや展示会等を企画。



うまいものを食べて、暮らしたい
それは、幼い頃の魯山人の言葉です。

魯山人

美食好きは、多大なエネルギーと美的感覚を研ぎます
して、自ら美味しいものを求めて作り、器に盛り、食し、
人に供しました。

魯山人主催の美食俱楽部、星岡茶寮では自ら美食を
愉しむための器を作り上げます。
その自由で奔放な魯山人の魅力をかたりべ魯分氏に
監修していただき写しの器に再現してみました。



北大路 魯山人

明治16年3月23日、京都上賀茂の社家に生まれる。陶芸、書道、篆刻、画家など幅広い分野で天才ぶりを發揮。美食が高じ会員制「美食俱楽部」「星岡茶寮」を創業。「食器は料理の着物である」という信念のもと、そこですること切の料理を創案、食器も自ら制作した。

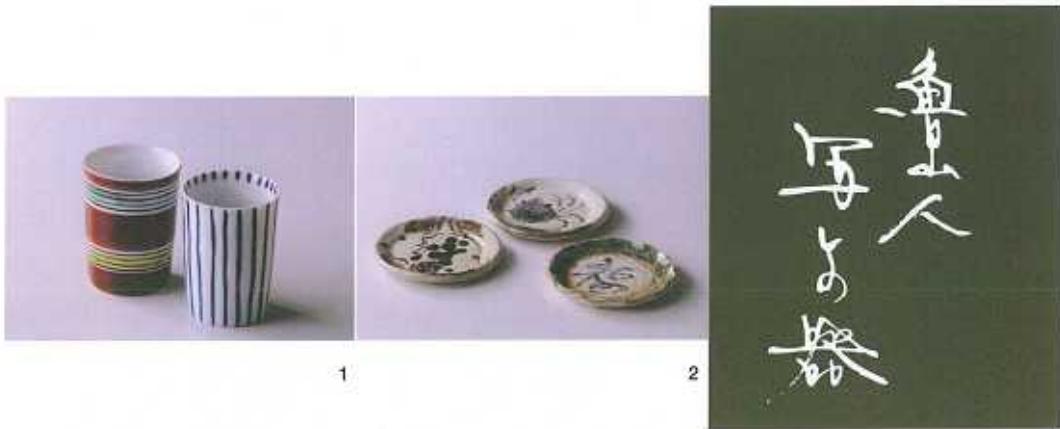


監修:かたりべ魯分
野守文雄氏

昭和21年生まれ
食器、陶器メーカー勤務を経て、魯山人に関する著書の発刊、魯山人に関するイベントや展示会を企画



OEX 株式会社オオエックス
<http://www.oex.co.jp>



1 魯山人写しの器 染・赤絵フリーカップ揃
L-1001 3,150円

2 魯山人写しの器 手造り三桙丸小皿揃
L-1002 3,150円

3 魯山人写しの器 手造り葉模様丸小皿揃
L-1003 3,150円

4 魯山人写しの器 手造り三桙角小皿揃
L-1004 3,675円

5 魯山人写しの器 二彩盛和焼
L-1005 3,675円

6 魯山人写しの器 染・赤絵三桙フリーカップ揃
L-1006 3,675円

7 魯山人写しの器 緩縫部盛鉢
L-1007 4,200円

8 魯山人写しの器 手造り五桙小皿揃
L-1008 5,250円